

# 株式交換に関する事前開示書面

(会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 193 条に定める書面)

2024 年 7 月 2 日

東京都中央区八重洲二丁目 2 番 1 号  
株式会社データ・アプリケーション

# 株式交換に関する事前開示書面

2024年7月2日

東京都中央区八重洲二丁目2番1号  
株式会社データ・アプリケーション  
代表取締役社長執行役員 安原 武志

会社法第794条第1項および会社法施行規則第193条の定めに基づき、下記のとおり株式交換契約等の内容その他法務省令に定める事項を記載した書面を備え置くことといたします。

## 記

### 1. 株式交換契約の内容

当社は、当社を完全親会社とし、株式会社WEEL（本店：東京都新宿区下落合四丁目26番12-201号）を完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」という。）を行うため、2024年6月25日付をもって、同社との間で別紙1の株式交換契約書を締結いたしました。

### 2. 交換対価の相当性に関する事項

交換対価につきましては、当社普通株式（自己株式30,000株）を交付することといたしました。交換比率につきましては、両社で慎重に協議いたしました結果、1:13とし、株式会社WEELの1株に対して、当社普通株式13株の割当てとすることといたしました。

### 3. 株式交換により増加する当社の資本金および準備金の額に関する定め相当性に関する事項

資本金および資本準備金の増加は行いません。

### 4. 新株予約権の交付および割当ての相当性に関する事項

該当事項はありません。

### 5. 計算書類等に関する事項

#### (1) 株式交換完全子会社

ア 最終事業年度に係る計算書類等の内容  
別紙2のとおりです。

イ 最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容

該当事項はありません。

ウ 最終事業年度の末日後の重要な後発事象

該当事項はありません。

(2) 当社の最終事業年度末日後の重要な後発事象

該当事項はありません。

6. 当社の債務の履行の見込みに関する事項

本株式交換について異議を述べることのできる債権者は存在しません。

以 上

## 株式交換契約書

株式会社データ・アプリケーション（以下「甲」という。）と株式会社 WEEL（以下「乙」という。）は、甲と乙との株式交換に際し、次のとおり株式交換契約（以下「本契約」という。）を締結する。

### 第 1 条（株式交換の方法）

甲及び乙は、本契約に定めるところに従い、甲を株式交換完全親会社、乙を株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」という。）を行い、甲は、乙の発行済株式の全部を取得する。

### 第 2 条（商号及び住所）

甲及び乙の商号及び住所は、次の各号に掲げるとおりである。

(1) 甲：株式交換完全親会社

商号：株式会社データ・アプリケーション

住所：東京都中央区八重洲二丁目 2 番 1 号

(2) 乙：株式会社完全子会社

商号：株式会社 WEEL

住所：東京都新宿区下落合四丁目 2 6 番 1 2 - 2 0 1 号

### 第 3 条（株式交換効力発生日）

本株式交換は、甲と宮川樹生（以下「丙」という。）との間で 2024 年 6 月 25 日付で締結した株式譲渡契約に基づく株式譲渡の効力が発生していることを停止条件として、2024 年 7 月 26 日にその効力が生じるものとする。但し、本株式交換の手續の進行上の必要性その他の事由により必要な場合、甲乙協議のうえこれを変更することができる。

### 第 4 条（株式交換に際して交付する株式及びその割当て）

1 甲は、本株式交換に際して、乙の株主に対して、乙の株式に代わる金銭等として、丙と甲との間で 2024 年 6 月 25 日付で締結した株式譲渡契約に基づく株式譲渡の効力が発生していることを停止条件として、当該株式譲渡の効力発生時の乙の株主名簿に記載又は記録された株主（但し、甲を除く。）が保有する乙の株式数の合計数に 13.00 を乗じて得た数の甲の株式を交付する。

2 前項の対価の割当てについては、前項の乙の株主名簿に記載又は記録された各株主（但し、甲を除く。）に対し、その保有する乙の株式数に 13.00 を乗じて得た数の甲の株式を割り当てる。

#### 第 5 条（資本金及び準備金の額）

本株式交換により、甲の資本金及び準備金の額は変動しないものとする。

#### 第 6 条（善管注意義務）

甲及び乙は、本契約締結の日から効力発生日まで、善良なる管理者の注意をもって、業務の執行及び財産の管理を行い、その財産及び権利義務に重要な影響を及ぼすおそれのある事項については、あらかじめ甲乙協議のうえ実行するものとする。

#### 第 7 条（株式交換条件の変更及び解除）

本契約締結の日から効力発生日までの間、天災その他の事由により、甲又は乙の財産若しくは経営状態に重大な変動を生じたとき又は本契約の目的の達成が困難になったときは、甲及び乙は、協議のうえ、本株式交換の条件その他契約の内容を変更し、又は本契約を解除することができる。

#### 第 8 条（契約の効力）

本契約は、本件株式交換に関する、甲の取締役会の承認、乙の株主総会の承認又は法令に定められた関係官庁等の承認（もしあれば）のいずれか一つでも得られないときは、その効力を失うものとする。

#### 第 9 条（公表）

- 1 甲及び乙は、事前にその内容、方法及び時期について双方合意した場合に限り、本契約締結の事実及び本契約の内容を公表することができる。
- 2 前項にかかわらず、本契約の当事者は、法令又は金融商品取引所の規則等に従い開示が要請される場合には、本契約締結の事実及び本契約の内容について、当該要請に基づいて必要とされる限度で公表することができる。但し、本項に基づいて公表を行う当事者は、その内容及び方法について実務上可能な限り相手方と事前に協議しなければならない。

#### 第 10 条（剰余金の配当の制限）

乙は、本契約締結後、本株式交換の効力発生日より前の日を基準日とする剰余金の配当を行ってはならない。

## 第11条（裁判管轄）

甲及び乙は、本契約に起因又は関連して生じた一切の紛争については、誠実に協議することによりその解決に当たるが、かかる協議が調わない場合には、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として裁判により最終的に解決する。

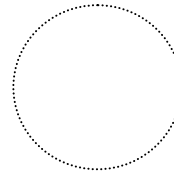
## 第12条（協議事項）

本契約に定める事項のほか、本株式交換に関して必要な事項は、本契約の趣旨に従い、甲乙互いに誠意をもって協議のうえ決定する。

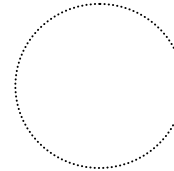
本契約締結の証として本書を作成し、甲及び乙が記名押印の上、それぞれが原本を1通ずつ保管する。なお、電子契約で締結する場合は、本契約の電磁的記録を作成し、甲及び乙が電子署名の上、それぞれが電磁的記録を保管する。

2024年6月25日

甲：東京都中央区八重洲二丁目2番1号  
株式会社データ・アプリケーション  
代表取締役社長執行役員 安原 武志



乙：東京都新宿区下落合四丁目26番12-201号  
株式会社 WEEL  
代表取締役 宮川 樹生



# 第 6 期 計算書類

2022年9月 1日から

2023年8月31日まで

株式会社 WEEL

# 事業報告

(2022年9月1日から2023年8月31日まで)

## 1. 当事業年度の事業の状況

### (1) 事業の経過及び成果

当社は神奈川県藤沢市に2017年9月に設立し、2019年10月より東京都新宿区に拠点を移し、6期目を終了いたしました。

当事業年度では、AIが世間の注目を集め始めました。当社では、データ学習し新データや情報を創出する生成AIに着目し、この生成AIを駆使することにより様々な業界のニーズに応えるため、事業の方向性を大きく変更した1年となりました。

この生成AIがどのようなものか、また、どのように生成AIを活用したら良いのか、という生成AIに関する正しい情報をSNSやYouTube等で記事や動画でアップするべくメディア事業部を立ち上げました。メディア事業部を立ち上げたことで、より組織的に、より精力的に活動することができました。その成果として、生成AIに関する講演会を開催したり、企業の研修会に当社の社員が講師として招かれたりするようになり、より当社の注目度が上がりました。当社のホームページのアクセス数も伸び、お問い合わせも増えました。加えて、生成AI活用のコンサルティング業務や生成AI導入前のPoC開発を受注することができるようになりました。

その結果、当事業年度の売上高は68,849千円（前期比21,275千円増）となりました。前前年度、前年度より繰り越してきた債務超過も解消することができ、7,319千円の当期純利益を獲得しました。

その一方で、2020年3月に設立した子会社である㈱SaaSisの事業の柱であるSaaS部門をこのまま継続しておくよりも親会社である当社が吸収し、一事業体として経営していく方がより経営が安定すると思えました。㈱SaaSisの社名を㈱AIsCREAMと変更し、AI事業を子会社の柱とすることも模索しましたが、㈱AIsCREAMでは、AI事業の案件を社内で自己完結しクライアント様に納品することが社員のスキルの的に困難であるという判断をいたしました。そして来期以降も親会社である当社が㈱AIsCREAMの業務委託を受けるのは望ましくないという結論に達しました。この経営判断により、㈱AIsCREAMの社員5名を全員、2023年8月16日付で当社に転籍させました。来事業年度からは社員5名増員となり、社長以下10名体制で運営していくこととなります。

### (2) 設備投資の状況

該当項目はありません。



(3) 資金調達の状況

該当項目はありません。

(4) 子会社の状況

2023年8月の経営判断により、(株)AIsCREAMを廃業する方向で(株)AIsCREAMの社員5名全員を親会社である当社に転籍させたのは上記のとおりです。(株)AIsCREAMのクライアントには、親会社である当社とのお取引に移行していただく旨、ご了承をいただきました。助成金の関係で、現フェーズが終了するまでは(株)AIsCREAMとの取引を継続したいという一社を除き、業務の移行はスムーズに実施される見通しです。該当の一社は、2024年1月から当社に移行予定です。

(5) 対処すべき課題と対応

生成AI事業を中心に、従来の受注によるプログラム開発やSaaSを駆使して構築するソフトウェア開発を行うのが来期の経営戦略であります。事業拡大による人員不足が懸念されます。特にシステムエンジニアに関しましては、スキルが高く即戦力となる人材を求人したいので、そのための資金力を確保しておきたいと思えます。売上げを伸ばすために、まずは優秀な人材を採用する事が急務だと考え、資金調達の手段を今後、真剣に考えていく所存です。

・品質の向上

SGSの審査の認証を確実に取得します。

・生産性の向上

社内勉強会で作業効率化やAIに関する最新情報の共有化に注力します。

・人材育成

エンジニア・PM(プロジェクトマネージャー)・メディア事業部・営業部・バックオフィス部門の各事業部間で情報共有できるよう随時、短時間のミーティングを実施していきます。

これからも、社員一同とともに事業の発展に向け努力いたしますので、株主様のご協力とご理解を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

(6) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位：円)

区 分	第4期 (2021年8月期)	第5期 (2022年8月期)	第6期 (2023年8月期)
売上高	53,896,019	47,574,781	68,849,800
経常利益	771,812	1,451,445	7,389,484
当期純利益又は 当期純損失(△)	701,388	1,279,605	7,319,061
1株当たり当期純利益 又は当期純損失(△)	35.07	63.98	365.95
総資産	58,803,359	54,978,638	59,318,007

(7) 主要な事業内容 (2023年8月31日現在)

- ・エンジニアリング業務
- ・社内システム受託開発
- ・コンサルティング業務
- ・生成AIセミナー
- ・生成AIのメディア事業
- ・生成AIを利用した社内システム受託開発
- ・生成AIに関するコンサルティング業務
- ・SaaSを使用するソフトウェア開発業務

(8) 主要な事業所 (2023年8月31日現在)

本社 : 東京都新宿区下落合 4-26-12-201

(9) 使用人の状況 (2023年8月31日現在)

使用人数	平均年齢	平均勤務年数
10名	29歳9月	2.3年

(注) 上記使用人数は正規使用人(契約社員含む)のみで、臨時使用人(派遣等)は含んでおりません。

## 2. 株式に関する事項

- ① 発行可能株式総数 20,000,000 株
- ② 発行済株式の総数 普通株式 200,00 株  
(資本金の額 2,000,000 円)
- ③ 株 主 数 1 名
- ④ 株 主

株主の氏名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
宮川 樹生	20,000 株	100.00%

## 3. 会社役員に関する事項

- ① 取締役及び監査役の状況 (2023年8月31日現在)

地 位	担 当	氏 名	重要な兼職の状況
代表取締役 社 長	—	宮川 樹生	—
取 締 役	—	甲斐 慎之介	—

- ② 取締役及び監査役の報酬等の額

(単位：円)

区分	支給人員	支給額
取 締 役	2 名	12,000,000 円

(注) 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。

# 貸借対照表

(2023年8月31日現在)

株式会社 WEEL

単位:円

項目	金額	項目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>流動資産</b>	55,182,360	<b>流動負債</b>	5,446,936
現金及び預金	26,623,747	未払金	1,467,787
売掛金	28,460,000	未払法人税等	70,000
仕掛品	0	預り金	306,449
建設業	54,231	未払い消費税等	3,602,700
未収還付法人税	2,603,700	<b>固定負債</b>	
立替金	34,176	長期借入金	51,130,000
仮払金	10,206	<b>負債合計</b>	56,576,658
		(純資産の部)	
<b>固定資産</b>	4,135,647	<b>株主資本</b>	2,741,071
有形固定資産	3,184,229	資本金	2,000,000
工具、器具及び備品	593,066	利益剰余金	741,071
無形固定資産	0		
ソフトウェア	0		
投資その他資産	3,542,581	<b>純資産合計</b>	2,741,071
出資金	8,130,000		
関係会社出資金	2,025,000		
長期前払費用	557,581		
敷金	900,000		
<b>資産合計</b>	59,318,007	<b>負債純資産合計</b>	59,318,007

# 損益計算書

(2022年9月1日から2023年8月31日まで)

株式会社 WEEL

単位:円

項目	金額	
売上高		68,849,800
売上原価		2,115,923
売上総利益		66,733,877
販売費及び一般管理費		62,491,856
営業利益		4,242,021
営業外収益		
受取利息	545	
賃貸料収入収入	3,341,400	3,565,438
営業外費用	417,975	417,975
経常利益		7,389,484
税金等調整前当期純利益		7,389,484
法人税、住民税及び事業税	70,000	
その他税額	423	70,423
当期純利益		<u>7,319,061</u>

# 株主資本等変動計算書

(2022年9月1日から2023年8月31日まで)

株式会社 WEEL

単位：円

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	純資産合計
		資本準備金	繰越利益剰余金		
当期首残高	2,000,000	—	△6,577,990	△4,577,990	△4,577,990
事業年度中の変動額					
当期純利益	—	—	7,319,061	7,319,061	7,319,061
事業年度中の変動額合計	—	—	7,319,061	7,319,061	7,319,061
当期末残高	2,000,000	—	741,071	2,741,071	2,741,071

## 個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項
  - (1) 固定資産の減価償却の方法
    - ① 有形固定資産 定率法を採用しております。
    - ② 無形固定資産 定額法を採用しております。
2. 貸借対照表に関する注記  
特に無し
3. 損益計算書に関する注記  
特に無し
4. 関連当事者との取引に関する注記  
特に無し
5. 1株当たり情報に関する注記
  - (1) 1株当たり純資産額 137円05銭
  - (2) 1株当たり当期純利益 365円95銭

6. 販売費及び一般管理費の明細

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
広告宣伝費	80,727	
役員報酬	12,000,000	
給料手当	19,301,942	
福利厚生費	1,958	
新聞図書費	43,735	
交際費	55,858	
交通費	1,530,703	
通信費	267,768	
高熱費	174,873	
消耗品費	508,274	
租税公課	7,783,900	
減価償却費	390,521	
修繕費	128,680	
保険料	29,000	
法定福利費	4,621,491	
支払報酬	467,949	
研修費	0	
外注費	5,074,773	
支払手数料	632,702	
地代家賃	6,692,800	
長期前払費用償却	380,198	
会議費	568,622	
諸会費	550,500	
取引関連費	730,000	
雑費	389,841	
管理諸費	3,085,041	
計	62,491,856	